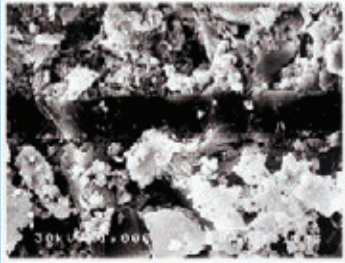


高分子ポリマーエマルジョンシーラー ライオンボンドA

ライオンボンドAとは

アクリル系ポリマーディスパージョン
JIS A 6203規格適合品
(セメント混和用ポリマーディスパージョン)



<電子顕微鏡による1000倍写真>
この写真は、ライオンボンドAを実際の建物に塗布工法で施工した皮膜の断面を、電子顕微鏡で撮影したものです。

ライオンボンドAの特長

■ 塗布工法

1. コンクリート下地への吸水防止作用によりモルタルの接着力を安定させる。
2. 塗布追っかけ工法が可能。
3. ALC等のプライマーとして優れた止水効果を発揮し、仕上げ材料の施工を容易にする。
4. SL材用プライマーとして優れた気泡抑制効果を発揮し、表面精度を向上させる。

塗布工法の性能

工 法	接着強さ (N/mm ²)
塗布乾燥	2.0
塗布追っかけ	1.6

プライマー：ライオンボンドA 3倍希釈液
塗布乾燥：オープンタイム24時間
塗布追っかけ：オープンタイム15分
塗布モルタル：塗り厚10mm (1：2.5モルタル)

・上記のデータは当社で評価したものです。
・上記データは代表値であり、品質保証値ではありません。

ライオンボンドAの施工要項

1. 表面のレイトンス、ゴミ、ホコリ、油等を取り除き、ていねいに清掃してください。
2. ジャンカ、PC板の破損箇所を補修する場合は、あらかじめ補修する部分の弱い箇所を取り除いてください。
3. 施工の前日に十分に水洗いしてください。
4. 塗布工法の場合は乾燥した下地にお使いください。



- 荷姿：18kg/一斗缶, 6kg/箱
- 成分：アクリル系
- 外観：乳白色
- 固形分：45%
- pH：8.5
- 比重：1.02
- 粘度：200cps

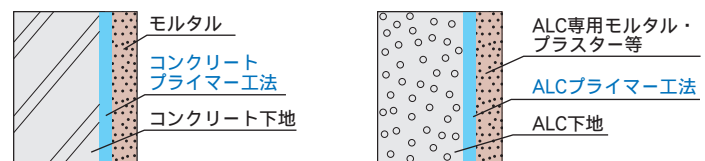
塗布工法

	施工方法	混合割合	施工量*
コンクリート工法	3倍希釈液を乾燥した下地に120g/m ² を目安にハケ、ローラー、スプレー等で塗布してください。		450m ² / 18kg缶 150m ² / 6kg箱
ALCプライマー工法	3倍希釈液を二回塗布します。1回当たり180g/m ² を目安にハケ、ローラー、スプレー等で塗布してください。		150m ² / 18kg缶 50m ² / 6kg箱
セルフレベルリング工法	セルフレベルリング材施工前日に塗布します。1回目が乾燥後、2回目を塗布してください。		180m ² / 18kg缶 60m ² / 6kg箱

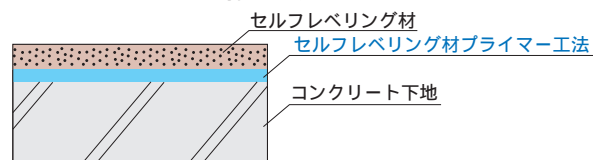
*ロスは含まれていません。

用途

●コンクリート、ALC下地のプライマー



●セルフレベルリング材のプライマー



ライオンボンドAの特長

■ 混入工法

1. 減水効果が大きく、乾燥収縮が低減される。
2. モルタルの軟度変化(シマリ)が少ない。
3. コテ伸びが良好。
4. 皮張りが少ないため、コテ押えが容易。
5. 下地に対する接着性が大きく向上する。
6. 耐透水性、耐吸水性良好。
7. 耐摩耗性、耐衝撃性良好。
8. 中性化防止、遮塩性、防錆性能に優れる。
9. 耐凍結融解性が向上する。

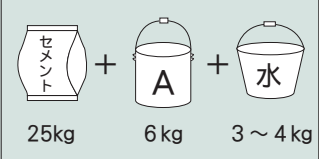
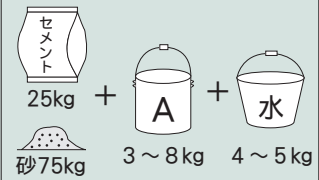
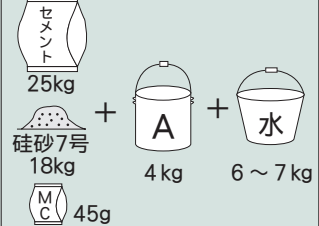
混入モルタルの性能 (JIS A 6203:2000)

項目	試験結果	規定値
フロー値 (mm)	175	170±5
曲げ強さ (N/mm ²)	10.0	8.0以上
圧縮強さ (N/mm ²)	25.5	24.0以上
接着強さ (N/mm ²)	1.8	1.0以上
吸水率 (%)	1.2	10.0以下
透水量 (g)	0.5	15以下
長さ変化率 (%)	0.03	0~0.150

注) モルタルの配合 (標準砂はISO規格標準砂を使用した。) ・セメント/標準砂/ライオンボンドA/水=100/300/22.2/20

※上記のデータは代表値であり、品質保証値ではありません。

混入工法

	施工方法	混合割合および塗布可能面積※1	
ライオンボンド工法	ボンドペーストを1mm厚みを目安に刷毛・ローラー・スプレー等で下地に塗布し、指触乾燥を確認後モルタル等を塗布する。(速乾性のモルタルの場合は16時間以上間隔を開けてください。)	 25kg + 6kg + 3~4kg	1mm厚みで約19m ²
ポリマーセメント工法	ポリマーセメントモルタルをコテで塗布します。1回の塗り厚は10mmまでとし、それ以上は数回に分けて施工してください。	 25kg + 砂7.5kg + 3~8kg + 4~5kg	ボンドAを6kg混入した場合 10mm厚みで約4.8m ²
薄塗りポリマーセメント工法	ポリマーセメントモルタルをコテで1~2mmにシゴキ塗りしてください。	 25kg + 砂7号18kg + MC 45g + 4kg + 6~7kg	1mm厚みで約27m ²

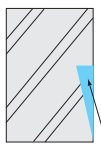
※1 ロスは含まれていません。

※2 水は施工性を確認しながら調整してください。

用途

●型枠目違い、凹部、ジャンカ等の補修

型枠目違い (2mm以下)



ベース工法

ベース工法をコテで、塗りつけてください。

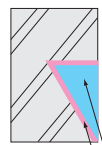
型枠目違い (3~5mm)



薄塗りモルタル工法

ベース工法で施工後、追っかけて薄塗りモルタル工法を行ってください。

型枠目違い (6mm以上)



モルタル工法

ベース工法で施工後、追っかけてモルタル工法を行ってください。一回の塗り厚は10mm程度とし、塗り重ねる場合は2~3日おいてから行ってください。

ジャンカ (2mm以下)



ベース工法

脆弱部をハツリ取りていねいに洗浄後、水引き加減を見て施工してください。小さなジャンカはベース工法をゴムコテ等で塗り付けて仕上げてください。大きなジャンカはベース工法を施工後、薄塗りモルタル工法もしくはモルタル工法で仕上げてください。

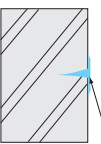
ジャンカ (2mm以上)



薄塗りモルタル工法

●クラック補修

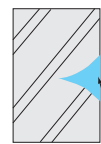
1mm未満



ベース工法

ベース工法をゴムコテ等でよく充填するように塗り付けてください。

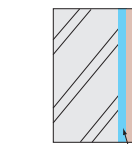
1mm以上



薄塗りモルタル工法

クラックに沿って巾15mm程度にVカット後、薄塗りモルタル工法で、塗り付けてください。

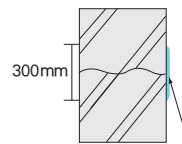
●各種仕上材の 下地調整



薄塗りモルタル工法

薄塗りモルタル工法をコテで塗り付けてください。(下地にライオンボンドA3倍液を塗布しますと、より作業性が向上します。)

●打ち継ぎ ジョイント部



ベース工法

ベース工法を巾300mm以上にハケ塗りしてください。

物性値の詳細については、当社試験成績表等をご参照ください。使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

取扱い注意事項

〔使用上の注意〕

- 気温が3℃以上の時にお使いください。
- 高速ミキサーで混練りする場合は、2分間以上攪拌しないでください。
- 混練りしたモルタルは、1時間以内にお使いください。
- 壁面に樹脂モルタルを施工する場合は、1回の塗り厚は10mmまでとし、それ以上の場合は、数回に分けて施工してください。
- 風通しの良い場所、直射日光のあたる場所等に施工する場合は、シート等で養生してください。

〔保管上の注意〕

- 使用後、残りのライオンボンドAは密閉して、早めにお使いください。
- 凍結させないよう、直射日光にあてないように保管してください。
- 保管時の温度は、3℃以下あるいは、40℃以上にならないようにしてください。
- 使用後の器具類は早めに水洗いしてください。

〔応急処置〕

- 目に入った場合
清浄な水で最低15分間、目を洗浄した後、直ちに眼科医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合
付着した衣服、靴を脱ぎ、付着した部分を水または微温湯を流しながら洗浄してください。
- 誤飲した場合
多量の水、または、食塩水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 〒105-8641 東京都港区東新橋1-9-2(汐留住友ビル20F)
 大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)
 名古屋 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
 札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-10-2(札幌HSビル10F)
 東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30 3F)
 北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
 四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)
 広島支店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)
 福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

電話 03(6370)2721 Fax 03(6370)2759
 電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
 電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
 電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
 電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
 電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
 電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
 電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
 電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は